

# 笑顔とあいさつ 未来に拓く坂元

## 第2期

## まちづくりプラン

令和5年度～令和9年度（2023年度～2027年度）



坂元校区(玉里団地全景)



玉里中央公園



七窪水源地

## 坂元校区コミュニティ協議会

所在地 〒892-0811 玉里団地3-45-1

校区公民館内

電話・Fax 099-295-0022

E-Mail sakamotocomi3451@gmail.com

## 【目次】

I	坂元校区のすがた	1
1	校区の概要	1
2	校区の人口推移	1
3	校区の地図	2
II	坂元校区コミュニティ協議会	3
1	設立	3
2	まちづくりの目標	3
3	運営方針	3
4	組織構成	3
III	第1期まちづくりプランの振り返り	4
1	第1期の成果と課題	4
2	各部会の第1期事業等の評価	4
3	第1期の活動記録	8
IV	第2期まちづくりプラン	10
1	まちづくり協議会の活動方針	10
(1)	計画の期間	10
(2)	まちづくりの目標	10
(3)	実施目標	10
(4)	基本方針	10
2	活動の体系表	11
3	坂元校区まちづくりプラン	12
V	資料編	15
○	第2期まちづくりプラン策定委員	15

# I 坂元校区のすがた

## 1 校区の概要

本校区は鹿児島市北部に位置し、古くは鹿児島郡伊敷村下伊敷と吉野村坂元の一部に属していた。西暦1200年代中ごろに鹿児島郡司であった矢上国秀により矢上城（催馬楽城）が築城され、1300年代の南北朝時代には、矢上高純と守護島津貞久との間で激しい戦いが繰り広げられた地でもある。

鹿児島市の人口増加に伴う市街地後背地の住宅地として、昭和45年（1970年）3月から昭和48年（1973年）3月にかけて、鹿児島開発事業団により玉里団地の造成工事が行われ、完成後は若い世代を中心に住宅建設が進み人口が急激に増加した。昭和49年（1974年）開校の坂元小学校は、昭和54年（1979年）には児童数が2000人を超えた。

当時は、団地内に様々な店舗が多数存在し、商店街も賑わいを見せていたが、近年住民の高齢化等により最盛期の賑わいはないものの、市の中心部から近く交通の便もよいことから、現在までのところ団地内世帯数の減少は小幅なものにとどまっている。また、造成前からの「明ヶ窪」「七窪」の2町内には豊富な湧水があり、「七窪水源地」は、今でも鹿児島市の水源として大きな役割を担っている。

平成28年（2016年）8月に発足し、10町内会をはじめ各種団体により構成されている「坂元校区コミュニティ協議会」では、新型コロナウイルス蔓延による事業の縮小や中止はあるものの、大きく変化しつつある時代の中で、地域住民の生活環境の維持・改善や交流・親睦、健康・体力づくり、安心・安全な地域づくり、あいご会活動の支援、高齢者の見守りなどの様々な活動を進めている。

## 2 校区の人口推移

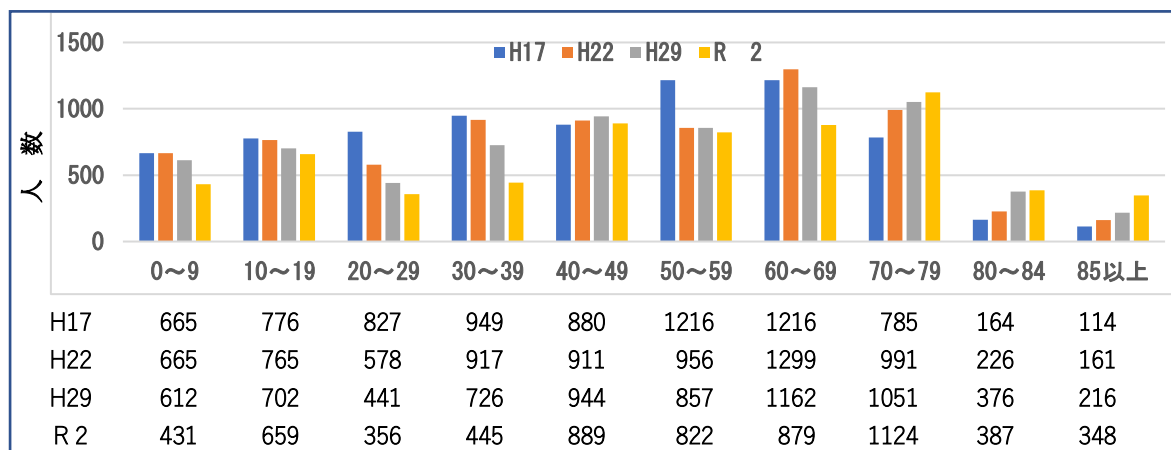
### (1) 世帯数・男女別人口推移【国勢調査より】

※各年度の10月1日調べ

年 度	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
2005年(平成17年)	2,986	7,593	3,430	4,163
2010年(平成22年)	3,047	7,476	3,391	4,085
2015年(平成27年)	2,965	7,133	3,247	3,886
2020年(令和 2年)	2,927	6,526	2,952	3,574

### (2) 小学校区年齢人口（10歳階級）【国勢調査】

※一部5歳階級





### 3 校区の地図

- 【坂元校区町内会】**
- 玉里団地1丁目
- ・西第二町内会
  - ・西第三町内会
  - ・西第四町内会
- 玉里団地3丁目
- ・東二区町内会
  - ・東三区町内会
  - ・第一市営住宅
  - ・第二市営住宅
- ・若葉町町内会
  - ・明ヶ窪町内会
  - ・七窪町内会



校区公民館（事務所）①

坂元小学校②

坂元中学校③

玉里団地福祉館④



## II 坂元校区コミュニティ協議会

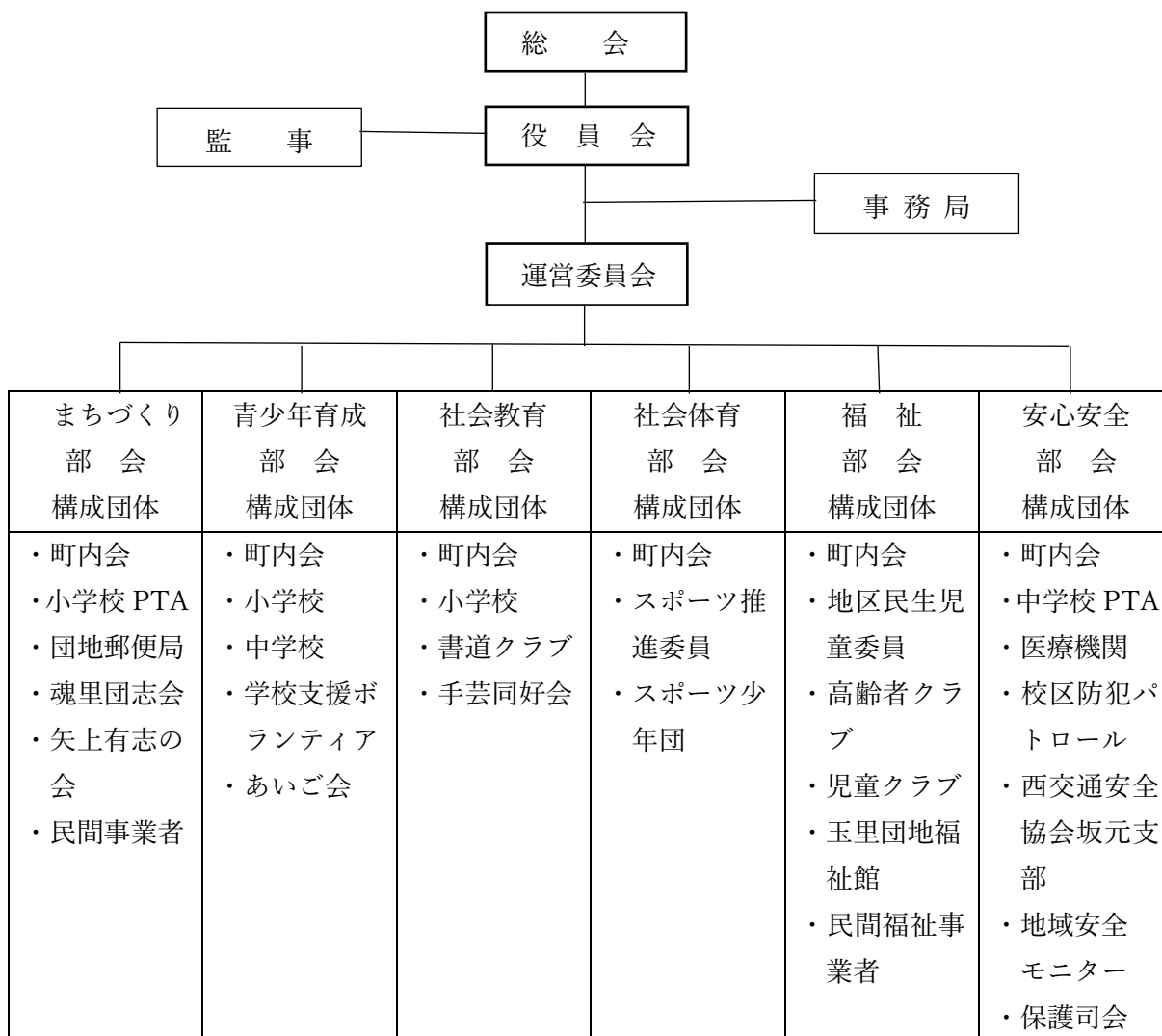
1 設 立 平成28年8月28日(日)

2 まちづくりの目標 『 笑顔とあいさつ 未来に拓く坂元 』

3 運営方針

- (1) 明るい笑顔であいさつを交わし合う心豊かな校区民は、安心してコミュニケーションが図られる。絆を強め、連帯感を深め合い、校区民が一体となって活動する場を提供する。
- (2) 校区民が心をついて、共助、協力の態勢で活力あるまちづくりをめざし、その実現に努力を惜しまない雰囲気を醸成することに努める。
- (3) 子どもから高齢者までが安心して生活できる環境整備に、校区民が一体となり積極的に推進できる場の設定に努める。
- (4) 役員・運営委員は、まちづくり実現のリーダーとなって、校区民との連携を密にし、校区民が主体的に活動できる場を設定・支援する。
- (5) 地域の課題や校区のよさ、特長をとらえ、校区民の思いを反映したまちづくりプランを策定し、関係機関との連携を図りながら計画の実現に努める。

4 組織構成



### Ⅲ 第1期まちづくりプランの振り返り

#### 1 第1期の成果と課題

##### ◆ 成 果

- 夏祭りは子どもたちの思い出づくり・ふるさとづくりを目的として長年開催されており、多くの地域住民が参加している。開催にあたっては関係町内会や地元商店街、若手経営者等が連携し実施している。
- ニュースポーツ等を通じて、日頃交流の機会の少ない地域の高齢者と子どもたちが触れ合うことができた。
- 女性学級や成人学級は、地域住民の生涯学習の推進に大きな役割を果たしてきた。各同好会等も、趣味を通じて地域住民の交流の場となった。
- 屋外で実施されるスポーツイベントは、コロナ感染拡大の影響も少なく、地域住民の生涯スポーツの推進に貢献した。
- 高齢化がすすむ地域において、住民が認知症や介護に関する知識が得られる講座は、今の社会のニーズに添えており、毎回参加者が多い。
- 地域住民の協力により、児童・生徒の下校時に防犯パトロールを行い、児童・生徒の安全が確保された。

##### ◆ 課 題

- 団地スーパー前の往来の多い場所に掲示板を設置し、コミュニティ協議会の行事等の広報を行っているが、協議会の事業や活動についての住民の理解はまだ十分とは言えない。理解や関心を深める工夫が必要である。
- 子育てが終わった世代のあいご会に対する関心が薄いため、あいご会の活動状況の広報に力を入れていくことが求められる。
- 社会学級や同好会等は、指導者・受講者ともに高齢化がすすみ、指導者不在や参加者の減少がみられる。次の世代の指導者・参加者の発掘が望まれる。
- 女性の就業が多くなって休日は家族で過ごす傾向もあり、土・日曜日開催が多いスポーツ行事への参加者が減少してきている。実施競技の検討も必要である。
- 急激にすすむ高齢化の様々な課題を集約したうえで、コミュニティ協議会として対応可能な課題から地域住民と共に考えていく必要がある。
- 防災活動は現状として各町内会まかせとなっている。各町内会の活動状況について情報交換を行い、それぞれの町内会の防災活動に生かしていく必要がある。

#### 2 各部会の第1期事業等の評価

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	改廃	成果・改善・感想等
1	玉里団地納涼夏祭り	まちづくり部会	A	継続	校区民が一体となり健康で明るい街づくりに貢献できた。子どもみこしやビンゴゲームにも大勢の子どもたちが参加するなど大きな成果をあげた。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続	成果・改善・感想等
2	ふるさと美化活動	まちづくり部会	A	継続	夏祭り終了後だけの清掃活動ではあったが、校区内すべての町内会が参加し、美しいまちづくりに貢献した。
3	広報の充実		B	継続	タイヨー前の歩道部に掲示板を新設した。他の団体からも掲示依頼があるなど、効果をあげている。
4	坂元地区青少年健全育成推進大会	青少年育成部会	A	継続	テーマを決めて、講師に講演を依頼して実施、今の時代の課題を認識できた。R2・R3年度はコロナ禍で中止した。
5	坂元地区立志の集い		A	廃止	中学2年生に対し青年期への移行期に際し自覚と決意を促し、激励するための事業。R1年度まで実施、R2年度からは学校で取り組む内容とのことで廃止した。
6	あいご会活動		A	継続	主な活動は「歩こう会」で、計画実施はあいご会が主体となって行った。
7	子どもと地域の方とのふれあいの会		A	継続	子どもたちと地域の方とのより深いつながりを目的に、異年齢チームをつくりニュースポーツを実施した。
8	あいさつ運動・表彰		B	継続	児童・生徒のあいさつ標語を市の募集に合わせて、小・中学校に依頼した。入選作品の表彰は校区文化祭で実施し、作品は校区文化祭・町内会・学校で展示した。
9	成人学級・女性学級	社会教育部会	B	廃止	成人学級・女性学級ともにR2年度まで実施、R3・R4年度は新学級長の不在により休講。学級長の確保が難しいため廃止する。
10	自主講座支援(書道クラブ・手芸同好会女性コーラス部)		A	継続	「書道クラブ」・「手芸同好会」は活動を継続。「コーラス部」はR2年度から指導者不在により廃止した。
11	校区文化祭		A	継続	町内会の作品展示や舞台発表、また、幼稚園や小学校の音楽バンドや中学校の吹奏楽等の協力もあり有意義であった。R2年度以降はコロナ禍で中止したが、継続していく。
12	玉里音頭の保存・普及		A	廃止	夏祭り・文化祭等で楽しく踊り盛り上げて練習の成果を発揮できた。R3・R4年度はコロナ禍で中止する。現在、指導者が不在となり継続が難しい。

※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続	成果・改善・感想等
13	関係機関との連携 ・中央公民館、生涯学習課主催行事等への参加	社会教育部会	A	継続	中央地区文化祭への出演・出展を行ったり、生涯学習課の行事等にも成人学級生・女性学級生を主体に参加に努めた。
14	校区スポーツ大会 (ニチレク)	社会体育部会	A	廃止	H30年度のみ実施したが、好評で楽しんでもらえた。R1年度以降は「校区スポレク大会」に名称変更をして実施した。
15	校区スポレク大会 (ソフトバレーボール)		A	継続	前記「校区スポーツ大会」を、R1年度から「校区スポレク大会」に変更した。R2・R3年度はコロナ禍で中止した。現在は参加者募集に苦労している。
16	校区親善球技大会		A	継続	毎年盛大に実施、地域全体の年齢層が高くなり参加チームは減少傾向にあるが継続する。R3年度には30回以上の出場者に感謝状を進呈した。
17	レディース・スポレク大会		A	継続	H30・R1年度は「いごてだま」を取り入れた。R2年度はコロナ禍で中止。R3以降は「ポッチャ」に変更。今後は、参加者の確保に努める。
18	ラジオ体操講習会		B	廃止	小学校の体育館で実施。当初2年間は実施したが、R2年度以降はコロナ禍で中止した。児童・生徒の参加が少ないため今後は廃止する。
19	ラジオ体操会		A	継続	R2年度のコロナ禍での中止を除き毎年実施。参加者にも好評で、定着し増加傾向にあり継続する。
20	中央ブロックスポレク大会		A	継続	校区外での大会であるが、毎回参加して優勝もしている。R2年度以降はコロナ禍で中止。再開したら参加する。
21	子育てサロン等の見守り支援	福祉部会	A	継続	これまで市・市社協等の協力で行き組み成果を上げている。引き続き充実させていく。
22	近所の見守り		C	当面中止	隣近所の見守りは、高齢者等を含む支え合いマップづくりへ移して検討するため、当面は中止とする。
23	高齢者の見守り支援		A	継続	順調に事業の取り組みができた。1人暮らし高齢者が増加し、対象年齢を70歳から75歳へ5年かけて引き上げたい。



※ 評価基準 A：よくできた B：概ねできた C：できなかった

番号	事業名	実施部会等	評価	継続	成果・改善・感想等
24	支え合いマップづくり・町内会での実践	福祉部会	B	継続	目標である町内会での実践に向けて努力中。町内会活動の充実につなげる目標で2期目達成を目指す。
25	相談窓口体制の充実		C	継続	玉里団地福祉館は、年4回の「たより」を発行。民生児童委員には、日常的に相談を受けている。今後は、地域福祉マップの作成を目指す。
26	介護講習会		A	継続	市社協の支援で年1回の定例化をさらに充実する。
27	認知症予防講座		A	継続	市社協・市保健所の支援で定例化を続け、充実させていく。校区コミュニティ協議会の支援が引き続き必要。名称を「認知症の理解と交流会」へ変更する。
28	校区防犯パトロール	安心安全部会	A	継続	年間を通して児童・生徒の下校時間帯に担当する町内会が実施。児童・生徒の安心安全が確保されている。
29	夜間パトロール		B	廃止	R1年度まで夏休み期間中に3回実施してきたが、問題となる事例は発生していない。最近では生徒等の夜間徘徊も見られないことから今後は廃止する。
30	街灯・防犯灯整備		A	継続	各町内会において市との連携が図られ、整備が適切に行なわれている。
31	防火・防災訓練		B	継続	各町内会において市との連携が図られ、各町内会会員参加のもと訓練等を実施する。
32	高齢者の犯罪防止講習会		B	継続	H30・R1年度に実施。高齢者に対する詐欺等の事例が後をたたないことから定期的に実施する。
33	青少年生活環境調査点検		A	継続	小学校と連携し、各町内会の危険箇所等の実態が把握できており、引き続き実施する。
34	交通事故防止活動		A	継続	西交通安全協会坂元支部と連携し、年4回交通安全のぼり旗の掲出、交通安全グラウンドゴルフ大会の実施で交通安全の啓発がなされている。
35	「命」のカプセル事業		B	継続	R3年度校区社協と連携し実施。今後も新規該当者（70歳以上の高齢者等）の要望に応じて実施する。

### 3 第1期の活動記録



玉里団地納涼夏祭り



子どもと高齢者とのふれあいの会

青少年健全育成推進大会



あいご会

坂元校区文化祭



坂元校区文化祭



第1期の活動記録



坂元校区文化祭



ソフトバレーボール



ボッチャ



球技大会



ラジオ体操会



子育てサロン



介護講習会



認知症予防講座



支え合いマップづくり勉強会



防犯パトロール



グラウンドゴルフ大会



「命」のカプセル



コミュニティ協議会掲示板の設置



## IV 第2期まちづくりプラン

### 1 まちづくり協議会の活動方針

(1) 計画の期間 令和5年度～令和9年度（2023年度～2027年度）

(2) まちづくりの目標

スローガン

『 笑顔とあいさつ 未来に拓く坂元 』

(3) 実施目標

- ① 校区民が一体となって美しい環境づくりに努め、こころ豊かに過ごせるまちづくりを進める。
- ② 豊かな自然の残る明ヶ窪・七窪を中心に、新興住宅地では味わえない自然体験活動を進める。
- ③ 校区の文化活動や生涯学習を通して、地域文化活動の充実に努める。
- ④ 校区民が健康で明るく、安心して暮らせるまちづくりを進める。

(4) 基本方針

- ① 住みやすい美しいまちと豊かな自然環境の中で、自然体験活動の推進や隣近所との絆を深め、活気あるまちづくりを進める。
- ② 校区民が一体となり、協働の精神で、青少年の健全な育成と高齢者の希望ある生活環境づくりを推進する。
- ③ 変化の激しい社会情勢に対応できる資質・能力を身につけるために、地域の文化活動に積極的に参加するなど、生涯学習に挑戦する校区民を育てる。
- ④ 心身ともに健康で明るく、笑顔であいさつできる心豊かな校区民を育てる。
- ⑤ 子どもや高齢者を見守る活動を推進し、安心して暮らせるまちづくりを進める。



笑顔とあいさつ



役員会

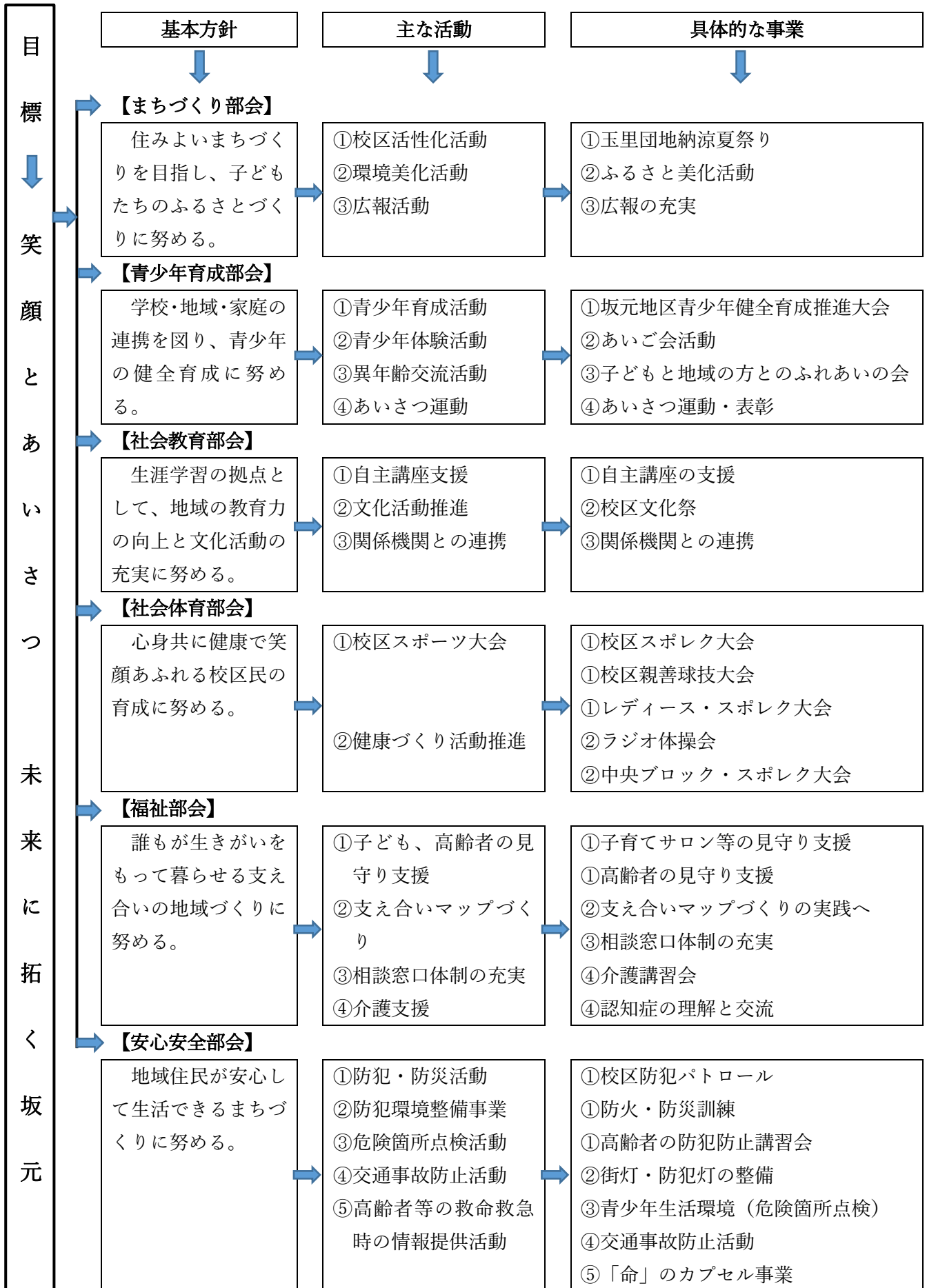


運営委員会



定期総会

## 2 活動の体系表





### 3 坂元校区まちづくりプラン

令和5年度（2023年度）～令和9年度（2027年度）

部会	構成団体	基本方針	事業名	事業内容	事業実施年間評価				
					5	6	7	8	9
まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会</li> <li>・小学校PTA</li> <li>・団地郵便局</li> <li>・魂里団志会</li> <li>・矢上有志の会</li> <li>・民間事業者</li> </ul>	<p>住みよいまちづくりを目指し、子どもたちのふるさとづくりに努める</p>	玉里団地納涼夏祭り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいご会子どもみこし</li> <li>○子どもビンゴゲーム</li> <li>○幼稚園・保育園・小学校・中学校の演奏発表</li> <li>○メインとなる外部演芸発表</li> <li>○町内会演芸発表</li> <li>○お楽しみ抽選会</li> </ul>					
			ふるさと美化活動	校区民による清掃美化活動					
			広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協議会だよりの発行</li> <li>○協議会及び町内会等の掲示板掲載による広報</li> </ul>					
青少年育成部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会</li> <li>・小学校</li> <li>・中学校</li> <li>・あいご会</li> <li>・学校支援ボランティア</li> </ul>	<p>学校・地域・家庭の連携を図り、青少年の健全育成に努める</p>	坂元地区青少年健全育成推進大会	○校区民の代表が一堂に会して、健全な青少年を育成するための課題について研修					
			あいご会活動	○異年齢集団で目的地をめざし、交流を深めながら、仲間づくり、体力づくりを目的に「歩こう会」を実施					
			あいご会活動	○歩こう会では、異年齢集団で目的地をめざし、交流を深めながら、仲間づくり、体力づくりに努める					
			子どもと地域の方とのふれあいの会	○地域の方と子どもとの絆を深めるために、異年齢集団でスポーツを実施					
			あいさつ運動表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ標語の募集</li> <li>○入賞作品の展示（全町内会、小・中学校）</li> </ul>					

坂元校区まちづくりプラン

令和5年度（2023年度）～令和9年度（2027年度）

部会	構成団体	基本方針	事業名	事業内容	事業実施年間評価				
					5	6	7	8	9
社会教育部会	・町内会 ・小学校 ・自主講座 書道クラブ 手芸同好会	生涯学習の拠点として、地域の教育力の向上と文化活動の充実に努める	自主講座の支援	自主講座 ○書道クラブ（第2・4木曜日） ○手芸同好会（毎週金曜日）					
			校区文化祭	○あいさつ標語の入賞者の表彰 ○あいご会活動・スポーツ少年団の活動発表 ○学習発表 ○自主講座等の発表（舞台・作品展示） ○町内会の演芸発表					
			関係機関との連携	○中央公民館・生涯学習課等の主催行事への参加					
社会体育部会	・町内会 ・スポーツ推進委員 ・スポーツ少年団	心身共に健康で笑顔あふれる校区民の育成に努める	校区スポレク大会	○誰でも参加できるスポーツを通じての健康づくり・親睦行事					
			校区親善球技大会	○町内会、小・中学校教職員との親睦球技大会					
			校区レディース・スポレク大会	○年齢を問わない誰でも楽しめるスポーツ大会					
			ラジオ体操会	○校区民の健康に寄与するための活動					
			中央ブロック・スポレク大会	○校区民の健康と外部機関との交流・親睦を深めるために行事等に参加					

坂元校区まちづくりプラン

令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)

部会	構成団体	基本方針	事業名	事業内容	事業実施年間評価				
					5	6	7	8	9
福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会</li> <li>・校区社会福祉協議会</li> <li>・地区民生・児童委員会</li> <li>・高齢者クラブ</li> <li>・児童クラブ</li> <li>・玉里団地福祉館</li> <li>・民間福祉事業者</li> </ul>	<p>誰もが生きがいをもって暮らせる支え合いの地域づくりに努める</p>	子育てサロン等の見守り支援	○社協による子育てサロンの充実支援					
			高齢者の見守り支援	○高齢者の見守り支援					
			支え合いマップづくり実践へ	○支え合いマップづくりの研修・実践					
			相談窓口体制の充実	○民生委員・児童委員の活動支援 ○玉里団地福祉館との連携 ○地域福祉マップの作成					
			介護支援	○介護講習会 ○認知症の理解と交流会					
安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会</li> <li>・中学校PTA</li> <li>・医療機関</li> <li>・校区防犯パトロール</li> <li>・西交通安全協会坂元支部</li> <li>・地域安全モニター</li> <li>・保護司会モニター</li> <li>・保護司会</li> </ul>	<p>地域住民が安心して生活できるまちづくりに努める</p>	校区防犯パトロール	○小・中学生の下校時間帯に校区をパトロール					
			街灯・防犯灯整備	○各町内会と市と連携し、街灯や防犯灯を整備					
			防火・防災訓練	○各町内会で関係機関と連携し、防火・防災訓練を実施					
			高齢者への犯罪防止講習会	○関係機関と連携し、高齢者に対する犯罪防止講習会を実施					
			青少年生活環境調査	○市と連携し、青少年の生活環境(危険箇所)点検調査の実施					
			交通事故防止活動	○西交通安全協会坂元支部と連携し、交通事故防止の啓発、のぼり旗の設置、グラウンドゴルフ大会の実施					
			「命のカプセル」事業	○高齢者等の救命救急活動時の情報提供を知らせる「命」(朱色)のシールを作成配付					

## V 資料

### 1 第2期まちづくりプラン策定委員

令和4年度の運営委員を策定委員とした。

氏名	役員・部会員等	氏名	役員・部会員等
北 森 孝 男	協議会会長・役員 福祉部会長	田 中 仁	青少年育成部会員 坂元中学校教頭
中 山 啓 四 郎	協議会副会長・役員 まちづくり部会長	坂 元 憲 美	社会教育部会員 町内会長
園 田 穂 積	協議会役員 事務局長・書記会計 安心安全部会長	廣 田 昭 宏	社会教育部会員 坂元小学校教頭
遠 矢 仁 司	協議会役員 青少年育成部会長	松 蘭 美 由 紀	社会体育部会員 スポーツ推進委員代表
文 城 テ ッ 子	協議会役員 社会教育部会長	新 原 克 己	社会体育部部会員 スポーツ少年団代表
穂 満 え り 子	協議会役員 社会体育部会長	迫 間 隆 行	福祉部会員 町内会長
井 浦 和 美	まちづくり部会員 町内会長	増 田 益 美	福祉部会員 民生・児童委員代表
笠 毛 弘	まちづくり部会員 町内会長	吉 原 る み 子	福祉部会員 主任児童委員
岩 野 宗 敬	まちづくり部会員 坂元小学校PTA会長	亀 澤 久 男	安心安全部会員 町内会長
宮 越 修 一	青少年育成部会員 町内会長	福 岡 歆 奈	安心安全部会員 坂元中学校PTA会長
中 村 宗 義	青少年育成部会員 坂元小学校長		